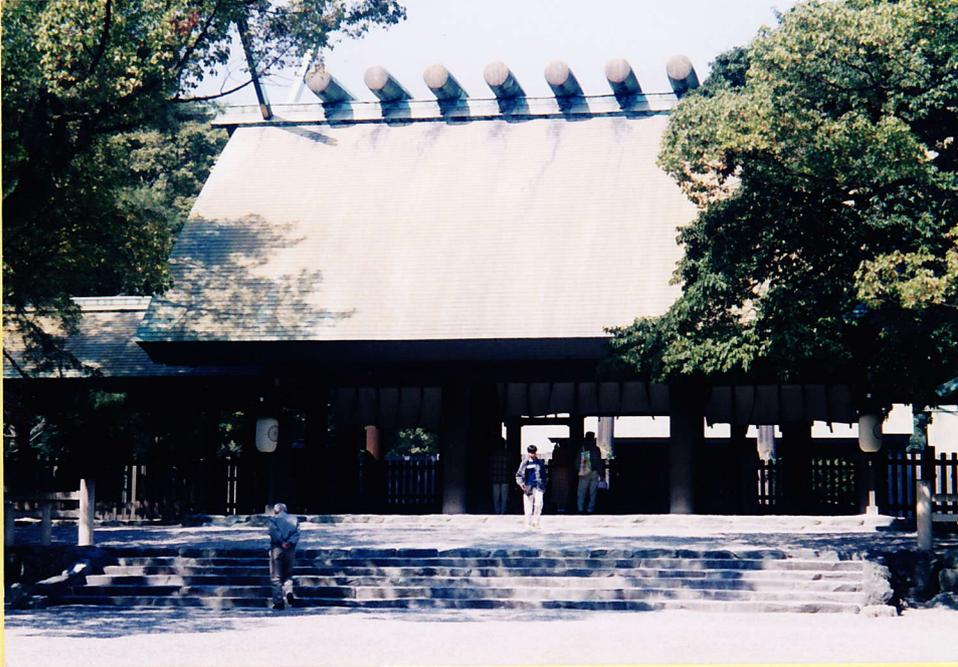


# 東海道五十三次

東海道 甲子番首の宿

## 宮みや

熱田神宮は三種の神器の一つ草薙剣をまつり奉拝岩は年間一千万人。本宮別宮のほか摂社八つ。そのうちの二知我麻神社は初元必ずで知られる。



六天を社城には大木が生い茂り、おびやかな雰囲気。熱田神宮は織田信長が桶狭間に公陣する前に戦勝祈願したことも有名で、境内には信長が勝利の返礼に寄進した「信長塀」がある。神社を出て南へ直進すれば



秋重画 保来堂

「衰し場跡。現在は宮の渡り公園」として整備されている。昔はここから七里の海路を経て桑名へ渡ったのが往時の航路。いまではすべり埋め立て地になってしまった。



海はなるか彼方だが、衰し場は川幅の太い場所。に面してゐるため、木々とした感じ。石造りの常夜燈や巨大な鐘楼が並んでかつての様子を彷彿とさせる。

「ちよと ちよ道」  
白鳥庭園

東海道中最大の繁昌を誇った宮宿。その名の通り、熱田神宮の門前町に成立した宿場である。

熱田神宮の西、堀川をわたり約三、七ヘクタールの敷地に昭和五十八年池泉回遊式日本庭園。汐入庭はハイテクを駆使して池の干満を演出。数寄屋建築の清丹亭は茶会などに開放されている。

「名物のうまいもの」  
味噌煮込みうどん  
さしめん  
蒲焼  
鰻の櫃まがし